



上天草の課題は日本の課題！

ここで学び、ここで考え

未来の上天草と日本を創ろう！

高齢化・離島・中山間部・公共交通機関・都市部への流出など、日本の課題を抱える上天草市。上天草高校と上天草市、地元企業、大学等が連携し未来の地域のリーダーを育成する。また、地域課題解決を通じた探究的な学びの成果を「上天草モデル」として全国へ発信する。



**研究開発課題 「ひと・もの・資源の宝庫」上天草で未来を切り拓くリーダーの育成**

- 育てる人材像**
- ① 上天草をより深く理解し、誇りに思い、愛する人材(知識・技能を基盤として)
  - ② 新しい上天草創造のために思考・行動・表現し、支える人材(思考力・判断力・表現力等)
  - ③ 上天草と自らの夢の実現のため学び続け、夢を追い続ける心豊かな人材(学びに向かう力、人間性等)



地域の人たちと語り合おう！

ボランティアを企画してみよう！

上天草がゴールで試してみよう！

小中学生と一緒にやってみよう！

ビジネスプラングランプリに応募だ！

キッチンカーで調理・販売しよう！

海外・国内研修で見識を広げよう！

区長会に提案だ！

地域を育てるカリキュラム開発等専門家

学校設定科目で 具体的な探究活動	1年次			2年次		3年次	
	普通科	<b>「上天草プロジェクトⅠ」</b> 【探究の土台をつくる】 ・最先端の講義・地域理解 ・プロジェクト学習(模索提言) ・発表による課題の共有 ・フィールドワーク、地域住民との語り合い			<b>「上天草プロジェクトⅡ」</b> <b>「地域起業研究」</b> 【地域資源を活かした起業・ビジネスプラン】		<b>「上天草プロジェクトⅢ」</b> <b>「地域イノベーション研究」</b> 【地域資源と結びつけた新たな産業創出】
情報 福祉 会計 科				<b>「上天草プロジェクトⅡ」</b> 【学科特性を活かした地域課題解決に向けた探究】		<b>「上天草プロジェクトⅢ」</b> 【3年間の総まとめ】 【地域住民参加の成果発表会】	

国語 × 地理歴史 × 公民 × 数学 × 理科 × 保健体育 × 芸術 × 外国語 × 家庭 × 情報 × 商業 × 福祉  
 教科横断の思考力・分析力の育成、「聞く」「話す」「表現する」プロジェクト

支える

土台

ふりがな	くまもとけんきょういくいいんかい	ふりがな	くまもとけんりつかみあまくさこうとうがっこう
管理機関名	熊本県教育委員会	学校名	熊本県立上天草高等学校

## 2019年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 実施体制の概要

### 1 管理機関・学校の概要

#### (1) 管理機関名、代表者名

管理機関名：熊本県教育委員会

代表者名：教育長 古閑 陽一

#### (2) 学校名、校長名、研究を実施する学科

学校名：熊本県立上天草高等学校

学科：普通科 専門学科 総合学科

校長名：生島 敬史

### 2 取組内容

Society5.0に主体的に対応し、学力の三要素も具現化できる地域人材を育成するため、すべての教科で学びの根幹となる「聞く」「話す」「表現する」力を高めるプロジェクトを行う。これらの力を根底に据え、地域や大学等と協働した学校設定科目である「上天草プロジェクトⅠ、Ⅱ、Ⅲ」「地域起業研究」「地域イノベーション研究」を軸としたカリキュラム開発を行い、「ひと・もの・資源の宝庫」上天草で未来を切り拓くリーダーの育成を行う。その際、上天草市内小中高が連携して推進している起業家教育を大きな柱とし、持続的な地域の発展を念頭に、様々な資源を活かし結びつけ、起業する人材が核となり、地域全体の意識の変革をもたらし、就業構造の変化につなげることをも目標としている。課外活動についても地域との協働を強化し、「地域の知の最高学府」である上天草高校の魅力化を推進し、地域への課題意識や貢献意識を持ち、解決に向けて主体的に思考・行動する人材を育成していく。

### 3 管理・運営方法

#### (1) 高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制

機関名	機関の代表者名
熊本県教育委員会教育指導局高校教育課	那須 高久
上天草高等学校	生島 敬史
上天草市企画政策課	永田 健吾
上天草市観光おもてなし課	前方 正広
上天草市教育委員会学務課	赤瀬 耕作
上天草市教育委員	山下 勝一
上天草市商工会総務課	志村 俊和
上天草市社会福祉協議会地域福祉係	須中 一久
上天草市小中学校長会	岩崎 良博
J Aあまくさ	水野 龍彦、林田 敏男
天草漁業協同組合上天草総合支所	北岡 秀敏
上天草市区長連合会長	大窪 直
天草ケーブルネットワーク メディア事業部	芥川 琢哉
上天草市危機管理情報課	岡元 宏洋
天草四郎観光協会	杉本 健一
東海大学	小田 心一
カリキュラム開発等専門家	元田 有祈
地域協働学習実施支援員	元田 有祈

## (2) 将来の地域ビジョン・求める人材像等の共有方法

育成する地域人材像については、従来より※総合型コミュニティ・スクールの学校運営協議会で地域と学校で共有してきた「上天草を愛し」「上天草を支え」「夢を追い続ける」子どもたちに育てて欲しいというビジョンを踏まえ、新しい学習指導要領の理念や、「学力の三要素」を具体化し、学校と地域が学びを通じて育てたい地域人材像として、以下の3つを掲げ、共有を図っていきたくと考えている。3つとは

①上天草をより深く理解し、誇りに思い、愛する人材（知識・技能を基盤として）

②新しい上天草創造のために思考・行動・表現し、支える人材

（思考力・判断力・表現力を基盤として）

③上天草と自らの夢の実現のため学び続け、夢を追い続ける心豊かな人材

（学びに向かう力、人間性等を基盤として）

である。コンソーシアムで共有を図ることはもちろんのこと、上天草高校生徒や上天草市内の義務教育諸学校の児童生徒にも浸透を図り、地域の人材育成の基盤に据えていく予定である。

※本県では防災に特化したコミュニティ・スクールのことを「防災型コミュニティ・スクール」と称して、すべての機能を有した「総合型コミュニティ・スクール」と区別している。本県県立学校のうち、上天草高校を含めた3校を「総合型コミュニティ・スクール」、その他全ての県立学校を「防災型コミュニティ・スクール」に指定している。以下同じ。

## (3) コンソーシアムにおける研究開発体制

コンソーシアムについては本事業の意志決定機関であり、育てたい人材像を共有し、協働して育成に携わる機関であることから幅広い関係機関で構成したいと考えている。具体的には高等学校関係、地域の義務教育学校関係、地元行政（各部各課）、地元団体（商工会、区長会、JA、漁協等）、学識経験者（大学等）である。

役割としては

- ・育てたい人材像の策定、共有
- ・3年間を見通した指導計画の策定への参画
- ・「上天草プロジェクト」「地域起業研究」「地域イノベーション研究」「課題研究」を中心とした教科科目の指導計画の策定への参画
- ・すべての教科科目で実施する「聞く」「話す」「表現する」プロジェクトをはじめとする「教科横断の授業開発の指導計画の策定への参画
- ・教育課程外の活動についての企画立案
- ・事業の進捗状況の管理 ・事業の検証 等を行う予定である。

また、平成29年度より設置されている総合型コミュニティ・スクールの学校運営協議会とは常時緊密な連携を行い、相乗効果で学校の魅力化に向けて取組を進める予定である。

## (4) カリキュラム開発等専門家（地域魅力化型・プロフェッショナル型）、海外交流アドバイザー（グローバル型）の指定及び配置計画

カリキュラム開発等専門家については、現在、上天草市松島町教良木で「地域おこし協力隊」として活動中の者を採用した。本人は熊本市出身であるが、東京の大学で学び、上天草で活動している。また、教育全般の問題や、地方創生の問題について大変興味関心が深く、高い知見も有している。文部科学省にて非常勤職員も務め、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業等に関わったこともある。定期的に勤務し、日常的に上天草高校職員と交流したり、推進委員会等に出席しながら、これまでの経歴等を活かした新たな視点によるカリキュラム開発に取り組んでいる。

## (5) 地域協働学習実施支援員の指定及び配置計画

カリキュラム開発等専門家として採用した者は上天草市で農業も行いながら地域おこし協力隊員として市内各方面と積極的に交流を深め、地域活性化に大きく貢献している。地域に対し

て様々な提言も行っている。そのような実績も踏まえ、地域協働学習支援員としても採用し、学校と地域をつなぐ役割を期待している。カリキュラム開発等専門家と支援員としての勤務は区別し、定期的に学校設定科目や「聞く」「話す」「表現する」プロジェクトへの参画（学年会への参加、授業でのファシリテーション等）を行う。

## （６）運営指導委員会の体制

運営指導委員会については

・上天草市長 ・学識経験者（大学学部長等） ・地元新聞社支局長  
・熊本大学熊本創成推進機構地域連携部門長 ・熊本県産業教育振興会会長 で構成。コンソーシアムに対して第三者的な視点から指導助言をいただくと考えている。

また、管理機関はコンソーシアム、運営指導委員会を主体として積極的に事業に参画し、カリキュラム開発についてもカリキュラム開発等専門家と密に連携を行い、指導助言を行うほか、進捗状況の管理も随時行う。また、定期的に指導主事が訪問し、学校設定科目以外の授業についても、主体的・対話的で深い学びの実現の観点から授業改善への指導助言を行い、学校、地域と協働して魅力ある学校の構築に向けて取り組む予定である。

現在も高校教育課の高等学校教育指導係、産業教育指導係、高校整備推進室を中心に学校、地元行政との緊密な連携関係にあり、今後は学校人事課や社会教育課等、本県教育庁挙げての支援プロジェクトの立ち上げも検討するなど、その関係をさらに発展させる。

## （７）研究成果報告・事業成果の検証に向けた計画

研究成果の報告については、毎年地域住民も参加しての研究成果発表会を計画している他、地域内においては上天草高校生が特派員を務める市の広報誌や、連携して番組製作等も検討している地元ケーブルテレビでの広報も推進したい。また、県内においても同様の環境におかれている地域や高等学校も多いことから、「上天草モデル」として広く発表会の参加を呼びかけたり、研修会の事例研究を行うなどの取組を進める。全国にも積極的に交流、発信を行う予定である。

事業成果については開発したアンケート等を用い、コンソーシアム、運営指導委員会で定期的に検証する他、総合型コミュニティ・スクールの学校運営協議会ともリンクさせ、地域における事業の効果検証、学校における魅力化の検証など多角的な検証を行う予定である。

## （８）管理機関又はコンソーシアムによる主体的な取組・支援

上天草高校を平成30年度より県独自の事業である「スーパーグローバルハイスクール」に指定し、地域に根ざし、グローバルかつグローバルな視点を併せ持つ人材の育成を主目的に取組を進めてきた。平成30年12月には熊本県スーパーハイスクール指定校合同研究発表会にも参加し、ポスターセッションを行ったところである。この事業は来年度以降も継続し、支援を続けていく予定である。また、学校の取組を地域へ発信する取組である「県立高校魅力創造発信事業」においても継続支援を行う。

また、上天草市においては前述した経済的支援の他、地域おこし協力隊員による学校支援を行い、学校と地域をつなぐ役割を果たしている。さらに、上天草市起業家教育推進の一環として市の義務教育のコーディネーターが定期的に学校と関わり、主として起業家教育についての指導助言を行っている。これについても今後継続し、上天草高校のカリキュラム開発等専門家（地域協働学習実施支援員）との連携も図っていく予定である。

## （９）事業終了後の継続的な取組の実施に向けた計画

### ア カリキュラムについて

「上天草プロジェクト」「地域起業研究」「地域イノベーション研究」についてはそれぞれ総合的な探究の時間や、学校設定科目として継続深化させる予定である。また、本県教育委員会が独自に行っている「スーパーグローバルハイスクール」を充実させることにより、フィールドワークや研究発表の予算等を確保していく予定である。「県立高校魅力創造発信事業」においても支援を行う予定である。

## **イ コーディネーターについて**

カリキュラム開発等専門家と地域協働学習実施支援員の資質や知見を持つ人物を上天草市の地域おこし協力隊員を中心に選考し、外部の視点と地域とのつながりを併せ持つ者として魅力化の核として配置する予定である。指定期間終了後の学校での活動に必要な財源については、県教育委員会と上天草市において協議を進めていく予定である。

## **ウ コンソーシアムについて**

前述の通り、平成29年度より総合型コミュニティ・スクール化されており、コンソーシアムのあり方については、学校運営協議会を拡大発展する方向も含め、事業を進めながら検討したい。まずはコンソーシアムと学校運営協議会の連携を密にし、様々な立場で本事業に関わることによって、より魅力あるものにしていきたいと考えている。

2019年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 研究開発の概要

指定期間	ふりがな	くまもとけんりつかみあまくさこうとうがっこう				②所在都道府県	熊本県
2019～2021	①学校名	熊本県立上天草高等学校					
③対象学科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模	
	1年	2年	3年	4年	計	在籍者総数	204名
	36	36	40		112	普通科	(各学年2学級) 112名
	21	25	16		62	情報会計科	(各学年1学級) 62名
	福祉科	10	13	7	30	福祉科	(各学年1学級) 30名
⑥研究開発構想名	「ひと・もの・資源の宝庫」上天草で未来を切り拓くリーダーの育成						
⑦研究開発の概要	<p>Society5.0に主体的に対応し、学力の三要素も具現化できる地域人材を育成するため、すべての教科で学びの根幹となる「聞く」「話す」「表現する」力を高めるプロジェクトを行う。これらの力を根底に据え、地域や大学等と協働した学校設定科目である「上天草プロジェクトⅠ、Ⅱ、Ⅲ」「地域起業研究」「地域イノベーション研究」を軸としたカリキュラム開発を行い、「ひと・もの・資源の宝庫」上天草で未来を切り拓くリーダーの育成を行う。その際、上天草市内小中高が連携して推進している起業家教育を大きな柱とし、持続的な地域の発展を念頭に、様々な資源を活かし結びつけ、起業する人材が核となり、地域全体の意識の変革をもたらし、就業構造の変化につなげることをも目標としている。課外活動についても地域との協働を強化し、「地域の知の最高学府」である上天草高校の魅力化を推進し、地域への課題意識や貢献意識を持ち、解決に向けて主体的に思考・行動する人材を育成していく。</p>						
開発の内容等	⑧-1全体	<p>(1) 目的・目標</p> <p><b>目的：</b>人口が減少する中で産業が停滞し、「就職とは誰かに雇われるもの」という意識の強い地域に変革をもたらし、「就職とは自ら起業して切り拓くもの」という新たな発想を有するなど、未知の状況にあっても適切な対応策・解決策を導き出せる力を持つ人材育成を目的としている。地元上天草市と連携・協力し、同市が地方創生推進交付金を活用して進める「地域の宝を活かした地域経済活性化」、「起業家教育を通じた人材育成」、「企業や雇用促進による産業活性化」等の一翼も担い、本校における起業家教育やイノベーション教育等の学校設定科目を通じて、地域への愛着と誇りを高め、地域の新たな未来を切り拓ける人材育成を行う。</p> <p><b>目標：</b>幅広い大学や研究機関との連携、情報通信業や農業、林業、水産業等のもつ可能性を探るためにも多角的な視点を養い、全校を挙げて、「学びに向かう力」、「活かして働く知識及び技能」、「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等」を高める授業改善を推進し、①文章や情報を正確に読み解き、対話する力、②科学的に思考・吟味し活用する力、③価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力、の3つの力を重点的に身に付けさせる。</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p><b>現状分析①：</b>幼少の頃よりずっと固定された人間関係で育ってきており、新たな人間関係を構築する力をつける機会も少なく、多様な価値観の人たちとの交流の機会も限られているため、異なる考え方や異文化に触れる機会が少ないという課題が見られる。</p> <p><b>現状分析②：</b>上天草市は、日本の諸問題を考え、未来を切り拓くヒントとフィールドの宝庫であるにも関わらず、地域の新たな資源や魅力を発見したり、生かす方策を思考する等の機会は乏しく、「就職は公務員か資格が必要な職業」あるいは「就職するのならなるべく大きな企業に雇われることが大切」といった意識が強いという課題が見られる。</p> <p><b>現状分析③：</b>文章や情報を正確に読み解き、対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力、価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力などを身につける機会が乏しく、十分なキャリア教育ができていないという課題が見られる。</p> <p><b>仮説及び期待される効果①：</b>地域各界の方々の講義を受講し、地域の人々と課題や解決策、新たな提案等を語り合ったり、地域でのフィールドワークを行うことで、上天</p>					

	<p>草をより深く理解し、誇りに思い、愛する人材を育成する。その中で思考力や判断力も養う。</p> <p><b>仮説及び期待される効果②：</b> 課題研究や起業家教育を中心に据え、大学や地域との連携をとおして、手法や発想を学ぶことで、新しい上天草創造のために思考・行動・表現し、支える人材を育成する。</p> <p><b>仮説及び期待される効果③：</b> 学びに向かう力を高める授業改革や県外での研修をとおして、上天草と自らの夢の実現のため学び続け、夢を追い続ける心豊かな人材を育成する。</p>
<p>⑧- 2 具 体 的 内 容</p>	<p>(1) 地域との協働による探究的な学びを実現する学習の実施計画</p> <p><b>学校設定科目「上天草プロジェクトⅠ」（1年生対象）</b> プロジェクト学習、地域理解講義、先進出前講義等を中心に取り組む。地域の現状を理解し、その中から課題を発見し、分析する力、克服して解決に導く力を養う。</p> <p><b>学校設定科目「上天草プロジェクトⅡ」（2年生対象）</b> 同じ課題意識を持った少人数で班を編成し、プロジェクト学習（課題研究）を行う。共通の課題解決に向け協業力を高めながら解決に向けて創意工夫する。</p> <p><b>学校設定科目「上天草プロジェクトⅢ」（3年生対象）</b> プロジェクト学習、特別進路講話、高大接続研究等を中心に取り組む。少人数で班を編成し、2年次に引き続き課題研究を行う。研究の成果をまとめることによって仮説の検証を行い、3年間の研究の集大成とする。</p> <p><b>学校設定科目「地域起業研究」（2年生普通科対象）</b> 事例研究、先進出前講座、ネットワーク活用講座、商品開発の理論と実践、マーケティング理論講座等を中心に取り組む。学力の三要素を基盤に「主体的・対話的で深い学び」を実現し、地域現状の課題に対し、論理的思考によって解決の糸口を導き出す力を養う。</p> <p><b>学校設定科目「地域イノベーション研究」（3年生普通科対象）</b> 先進出前講座、観光ビジネス講座、ビジネスマネジメント講座、グローバル経済講座等を中心に取り組む。既存産業を従来にない枠組みで結びつけたり、地域資源を生かした新事業の立ち上げや技術革新を行うなど、地域の課題を打破するために、柔軟な発想で変革をもたらす力を身に付け、論理的思考によって解決の糸口を導き出す力を養う。</p> <p><b>中高一貫の起業家教育とICTを利用した隔地者間のコミュニケーション</b> 中高連携により、市内の各中学校が設定したテーマ毎に本校生徒を「エキスパート生徒」として授業に参加させ、起業家教育における課題研究についてアドバイスを行う。また、プロジェクト学習において、大学教員等の外部指導者による定期的な指導に加え、適宜ICTを利用した研究の報告を行うことで、より専門的な学びにつながる。</p> <p>(2) カリキュラム・マネジメントの推進体制</p> <p><b>①地域の特色に根差し、地域の資源を活用したカリキュラムの実現</b> 上天草高校は、平成29年度より総合型コミュニティ・スクールとなり、学校運営協議会を中心に、「地域とともにある学校」へと転換するために、「学校教育支援委員会」「地域活性化委員会」「広報委員会」の3つの専門委員会を設置し、学校と地域とが「上天草を愛し」「上天草を支え」「夢を追い続ける」というビジョンを共有しながら、地域との協働による学校運営を進めており、それを継続する。</p> <p><b>②「聞く」「話す」「表現する」プロジェクト</b> 学校設定科目はもちろんのこと、すべての学科・教科科目において教科横断的に共通のテーマを設定し、授業改善の大きな柱として、「聞く」「話す」「表現する」等、どの教科でも必要になる力を、地域を巻き込みながら伸ばしていく。生徒・保護者へのアンケートに、地域住民や外部の有識者、さらに授業公開での参加者からの意見も加えて、改善点を見出す。</p> <p><b>③新しい学びの形態への挑戦</b> オンライン学習システムを活用した自学力育成を図っていく。さらに、ICT機器を活用することはもちろんのこと、大学の先生方や熊本県内に配置されている指導教諭（本県ではスーパーティーチャーと呼称している）とのTTなども遠隔等で企画し、教員の指導力向上も同時に図っていききたい。</p> <p>(3) 必要となる教育課程の特例等 「総合的な探究の時間」に替え「上天草プロジェクト」「地域起業研究」「地域イノ</p>

	バージョン研究」を実施するため、教育課程の特例を受ける。
⑨その他 特記事項	(1)平成29年度より、総合型コミュニティ・スクール（熊本県） (2)平成30年度より、スーパーグローバルハイスクール（熊本県） (3)平成30年8月より、上天草市指定避難所（上天草市）